

梨の立毛品評会 篠崎益朗さん 1 位

掲載日：令和 7 年 8 月 9 日（土）

稲城の梨生産組合は 7 月下旬、稲城市の梨畑で立毛品評会を開いた。審査は、収量、整枝剪定、病虫害防除、土壌管理の 4 項目で行い、審査の結果、第 1 位は東長沼地区新田支部の長彦園（園主・篠崎益朗さん）となった。

同生産組合の川崎賢吾組合長は、「立毛品評会で互いの良い部分を参考にして、栽培技術の向上を図っていききたい」と話した。

今年の梨の生育は今のところ順調で、早生品種の収穫が始まっている。今後の天気、気温によっては高温障害による煮果などの恐れがある。



審査員の東京都農業振興事務所の杉田課長代理から審査ポイントの説明を受ける参加者ら（東京都稲城市で）